

いずみがおか

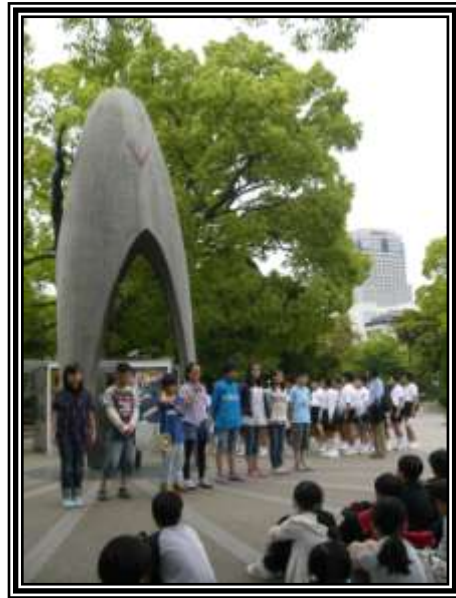
平成24年(2012年)5月31日No.3

6年生 修学旅行を終えて



と、未来を託された子どもたちへの思いがこもったお話でした。「お話を聞く」六年生の姿、「資料館での」六年生の姿を見て、一人ひとりが、広島の地で、「新たな思いを抱いた」と感じました。

五月二十四日(木)、二十五日(金)の一泊二日で六年生は、広島・大久野島へ修学旅行に行きました。新大阪から『桜547号』に乗り、約一時間三十分で広島に着き、路面電車に乗って平和記念公園まで行きました。最初に被爆体験者北川建次さんのお話を聞きました。「広島のことを世界へわかってもらえるように。」



全校児童の「平和への願い」がこもったパネルです。



「原爆の子の像」の前で、セレモニーを行いました。黙祷の後、歌「青い空は」を祈りの思いを込めて合唱し、全校児童が、平和への願いを込めて作った折鶴で作ったパネルを泉丘小学校の代表として捧げました。宿舎のある大久野島には、忠海港からチャーター船で渡りました。宿舎『休暇村大久野島』では、班ごとに協力して活動しました。二日目は、朝からあいにくの雨でしたが、班ごとに島を回り、大久野島の自然を満喫しました。その後、大久野島で製造されていた毒ガスに関わってのお話を平和活動を推進されているボランティアの山内静代さんから伺いました。「つらいこと、悲しいこと、楽しいこと、何でも家の人に話すこと、話すことが、大きく言えば、平和へつながることです。」とおっしゃっていました。この修学旅行のスローガン『仲間と一緒に、平和の大切さ・命の尊さを学ぼう。↓考えよう。伝えよう。』の様に、充実した二日間を過ごしました。